

時間学カフェ

第 34 回

日時：2024 年 1 月 22 日（月）13 時 30 分～
会場：時間学研究所所長室
（吉田キャンパス総合研究棟 106）

話題提供者

田畑 直彦 先生（埋蔵文化財資料館 助教）

弥生土器の型式学と時間

弥生時代は日本で食料生産を基礎とする生活が開始された時代で、弥生土器は弥生時代に使用された土器です。

弥生土器は考古資料の分類学である型式学に基づいて機能的・時間的・空間的に分類されています。

考古学の型式学は生物学の分類学に近似しており、類似した資料群は人間の行動の類似性、すなわち、資料を生み出した人間が属していた集団の行動方式に基づくものと考えられています。

今回は考古学における型式学と講演者が取り組んでいる弥生土器と時間を巡る諸問題についてご紹介します。

時間学カフェ

とは。。

この世の、あらゆることからは時間と関係しています。

どこにどれだけ「多様な時間の姿」があるのか？

ヒトの時間、社会の時間、機械の時間、心の時間・・・

色んな分野の人との交流から新しい発見があるかもしれません♪

気ままに、話の赴くままに、お茶を飲みながらお喋りしてみませんか？

先生、職員、学生、学外の方、どなたでも参加 OK

研究の話でも、思いつきでも、突拍子のない考えでも、便乗発言大歓迎！

問合せ先
時間学研究所事務室
Tel: 083-933-5848
e-mail: sh076@yamaguchi-u.ac.jp